

ウェディング科1年 2024年度科目シラバス

対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座Ⅱ	担当名	大松晶野 吉田大樹 高橋真実
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	自ら考え行動する力を実践し、「自己理解」「自己開示」「自己肯定感」「他社理解」の大切さを理解し、実践に向けて動き出すことができる。また、将来の就職を見据えて、2年次の実習および就職活動に向けて流れを理解し、活動の準備を始める。
学習内容	学科職員や業界の方々から、ウェディング・ホテル業界で活躍するために、業界の特徴や、学生一人ひとりの特性に合わせ、学習を通して自信やモチベーションを高めることで業界へ羽ばたくことが楽しみになる授業を実施する。また就職活動の基本を理解できる。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	・2S目標設定 ・国際教育オリエンテーション	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
2	社会人基礎力講座	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
3	社会人基礎力講座	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
4	ビジネスマナーを身につける④ 慶弔マナー 名刺交換マナー	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
5	ビジネスマナーを身につける⑤ 書類送付状	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
6	ウェディング・ホテル業界の働く環境を理解する:業界マップ	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
7	2年次現場実習に向けたオリエンテーション 実習の考え方と流れを理解し、準備に入る	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
8	履歴書の書き方の復習 自己PR、志望動機の書き方	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
9	企業研究の方法を理解する	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
10	ウェディング・ホテル業界の方からの特別講座(予定)	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
11	2年次履修登録の説明	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
12	就職活動の基本的な流れ	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
13	2年次履修登録	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
14	2S振り返り	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
15	定期試験		

対象学年	1 学年	PCスキルⅡ	担当名	高橋 延昌 (株)ブレインスタッフコンサルタンツ
対象学期	後 期	講義 ・ (演習) ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	・プレゼンテーション作成時のポイントを実践的に学び、訴求力のあるスライドの作成と発表ができる ・メールマナーを守り送受信できる
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	・パソコンはフル充電した状態で講義に参加してください ・PCに接続可能なイヤホンまたはヘッドホンと、マウスを準備してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブックを活用するさまざまな機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース (Excel応用E)	無
2	Excelで見積書を作成できる	e-learning特別講義コース (Excel実践)	無
3	受け取り手に好印象を与えるメールを作成できる	e-learning特別講義コース (メールマナー)	無
4	AIに関する正しい情報や知識を身に着け、適正かつ有効に活用できる	e-learning特別講義コース (AIリテラシー)	無
5	AI機械学習の知識を活かしてスクラッチのゲーム操作ができる	e-learning特別講義コース (AI機械学習)	無
6	正しい指使いでタイピングできる	e-learning特別講義コース (タイピング)	無
7	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	e-learningPowerPoint (1基本操作)	無
8	図形や画像を活用したスライドを作成できる	e-learningPowerPointコース (2表現力を上げる)	無
9	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	e-learningPowerPointコース (3動きを付ける)	無
10	スライドを視聴者にとって訴求力のある内容に編集できる、オンラインで画面共有できる	e-learning特別講義コース (PowerPoint)	無
11	スライドを完成させ、発表できる準備を完了する オンラインで画面共有できる	e-learning特別講義コース (PowerPoint)	無
12	作成したスライドを使って発表、評価ができる(1回目)	e-learningPowerPointコース (発表1)	無
13	作成したスライドを使って発表、評価ができる(2回目)	e-learningPowerPointコース (発表2)	無
14	PowerPoint学習した全内容の総復習	e-learning試験対策コース (PowerPoint)	無
15	PowerPointの基礎的な操作ができる	e-learning試験 コース (PowerPoint)	無

対象学年	1 学年	科目名	ブライダル概論Ⅱ	担当名	中村 恵理
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	前期で学んだ知識を実践形式に落とし込みながら基礎知識を定着させ、アソシエイトブライダルコーディネーター検定に合格する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚式スタイルなどの話も交えながら、実際に接客する自分の姿をしっかりとイメージできるように演習を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	前期で学んだ概要を復習しながら、知識をどうやって実務に活かすかを考えること わからないことは自ら積極的に質問をする習慣をつけること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	コーディネーター業務 新規接客と打合せ業務の違い	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
2	新規接客(演習)カウンセリング	筆記用具、ウェディングプランニングツール	
3	新規接客(演習)会場案内	筆記用具、ウェディングプランニングツール	
4	新規接客(演習)見積り・空き状況・クロージング	筆記用具、ウェディングプランニングツール	
5	新規接客(演習)成約手続き	筆記用具、ウェディングプランニングツール	
6	オーダーシートとは、見積書の更新の必要性	筆記用具、ウェディングプランニングツール、テキスト	
7	打合せ業務(演習)初回打合せ	筆記用具、ウェディングプランニングツール、テキスト	
8	打合せ業務(演習)中間打合せ	筆記用具、ウェディングプランニングツール、テキスト	
9	打合せ業務(演習)最終打合せ	筆記用具、ウェディングプランニングツール、テキスト	
10	婚礼当日業務とは	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
11	アソシエイトブライダルコーディネーター検定の概要 出題スタイルについて、問題実例	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
12	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
13	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
14	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
15	定期試験(ASS検定)	筆記用具	

対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングⅡ	担当名	和田 翔太郎
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの歴史・スタイル・実務の基礎を学び、ゲストハウス全般の知識を得る。お客様に合わせた提案をするため、最適なヒアリングとプランニングを行うことができるようにする。
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1 2	ヒアリングとプランニング ヒアリングシートとコンセプトメイク	筆記用具、PC	なし
3 4	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク準備	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5 6	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク発表	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
7 8	ヒアリングとプランニング プランニングワーク 招待状・席次表	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
9 10	ヒアリングとプランニング プランニングワーク 進行表・演出・サプライズ	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
11 12	ヒアリングとプランニング 手配・直前準備・婚礼当日	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
13 14	集客・ブライダルフェア・その他のプランナー業務	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	リゾートウェディング	担当名	ベスト・アニバーサリー
対象学期	後 期	講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位	30 時間

到達目標	国内外のリゾート地の特徴を学び、リゾート地からできるウェディングについて調べる。リゾートウェディングの場合、打合せが遠隔になることが多いため、リゾートの魅力をどのように伝えることができるかなど、語彙力・プレゼンテーション能力を高める。
学習内容	ハワイの有名ホテルの海外挙式プロデュースの経験や、国内のリゾートウェディングの魅力をお客様に紹介してきた講師が、リゾートならではの魅力をエリアの観光地と共に解説。語彙力・プレゼンテーション能力を具体的に取り入れた授業を実施。BIA主催「マスターオブブライダルコーディネーターコンテスト」グランプリ受賞講師。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターテキストを持参。筆記用具持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・リゾートウェディングについて	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
2	リゾート地のピックアップ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
3	リゾート地の魅力 (グループディスカッション)	プリント	他グループの発表を聞いて まとめる
4	リゾートウェディングの変遷	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
5	リゾートウェディングの魅力について (グループディスカッション)	プリント	グループで話したことを まとめる
6	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの魅力とは	プリント	発表するための 準備をする
7	リゾートウェディング カスタマー分析	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
8	インタビュー内容についてのまとめ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
9	【特別授業】 リゾートホテル社員へのインタビュー	プリント	発表するための 準備をする
10	インタビューした結果のレポートまとめ (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
11	各種ウェディングの分析 *ゲストハウス・ホテル・リゾート・専門式場・レストラン 等	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
12	各種ウェディングの違いなどをまとめる (グループワーク)	プリント	グループで話したことを まとめる
13	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの特異性とは	プリント	発表するための 準備をする
14	まとめ	ブライダルコーディネーターテキスト 筆記用具	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリストⅡ	担当名	坂田 依智子・福島圭子		
対象学期(Q)	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位	60	時間

到達目標	衣装決定までの流れを習得し、トータルコーディネートを含めた衣装提案ができる。 婚礼和装の衣装選びを正しい知識でご案内ができる。
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ウェディングスタイリストとして長きに渡り式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員と、ドレスブランドマシェリにて、500組以上の挙式にスタイリストして携わった教員が、現場での経験を伝えながら指導する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1	衣装決定までの業務について	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	テキスト第3章をよく読んでおく	福島
2	カウンセリングの手法、衣装選び、衣装のプレゼンテーションについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
3	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
4	トータルコーディネートについて～体型・会場	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
5	接客アテンドと花嫁様へのアドバイスの実践、ドレスフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
6	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング ドレスとメンズ衣装の組み合わせ	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	福島
7	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(WD)」をトータルコーディネートし、コラージュ作成	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
8	「キュート(WD)」コーディネートのコメント作成、発表、意見交換、フィードバック	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
9	新婦の和装について／打掛、引き振袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
10	新婦の和装について／打掛のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
11	新郎の和装について／紋服のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
12	家紋、列席衣装の和装について／留袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
13	和装コーディネート、トレンドについて	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田
14	定期試験に向けて総復習	[テキスト]JWSA ウエディングファッション 白手	学んだ内容をしっかりと確認しておく	坂田・福島
15	定期試験		定期試験事前学習	坂田・福島

対象学年	1 学年	科目名	ドレスメンテナンス	担当名	北沢聡子
対象学期	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ドレスメンテナンスの為に必要な技術演習を行いドレスコーディネーターに必要なメンテナンス技術を習得する
学習内容	ドレスデザイナー・コーディネーターとして10年以上の経験を持ち、上級洋裁講師でもある教員がドレスメンテナンスの基本を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の持ち物を確認し、忘れずに持参して授業に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	様々な衣装店の形態を学びオリエンテーションを通して目標を確認する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	裁縫道具の点検
2	道具の使い方について理解し、針と糸の扱いを演習する、運針と4つの基本縫いの意味を理解する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	運針の練習
3	4つの基本縫い実習	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	基本縫いの復習
4	メンテナンスの種類について理解し、ループの指編み実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	指編みの復習
5	メンズフォーマルのメンテナンスについて理解し、ボタン付け・スラックスの丈上げ実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング・メンズスーツ	ボタン付けの復習
6	ホック・スナップ・パール・ビーズ・スパンコール・レースの取り付け実習を行う	シーチング・オーナメント一式・テキスト・裁縫道具	ホックやスナップを付け直す
7	アイロンの種類とかけ方を学び、アイロン実習	アイロン・衣装・筆記用具	自分のスーツにアイロンをかける
8	ドレスのお直しの箇所を理解し、直せるかどうかの判断とピン打ち実習	ドレス・裁縫道具・筆記用具	マチ針の扱いの復習
9	ドレスのお直し実習	ドレス・裁縫道具	お直しのコツの復習
10	ドレス・メンズフォーマルのサイズについて理解し、採寸実習を行う	メジャー・プライダルインナー・ティーシャツ・筆記用具	採寸のポイントの復習
11	染み抜きと匂い取りの仕組みについて学び、染み抜き実習を行う	タオル・洗剤・ベンジン・筆記用具	自分の服の染み抜きをやる
12	芯について学び、特殊素材のチュールでリボンを制作する	チュール・テキスト・オーナメント・裁縫道具	制作したリボンに止め具を付ける
13	基本縫いを基にピンクッションを制作する	サテン・フェルト・綿・オーナメント・裁縫道具	提出物を切の良いところまでやっておく
14	ピンクッションの仕上げ、定期試験二向けての総復習	裁縫道具・筆記用具	試験勉強
15	定期試験	筆記用具・提出物	—

対象学年	1 学年	科目名	フラワーデザイン	担当名	天野充恵・遠藤智緒里
対象学期	後 期		講義 ・ <u>演習</u> ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60時間

到達目標	フローリストとして必要な季節のお花の知識や扱い方、ブライダルで使えるデザイン、ブーケの技術を身につけ場所や用途にあわせた商品を作製できるようになる。
学習内容	花業界に入って32年。ホテル・レストラン・船上などでのウェディング装花の装飾を多数経験する講師が授業を担当する。ウェディングブーケはこれまでに20000個以上制作。花の知識と扱い方、実際にウェディング業界で必要となる技術を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	商品としてどう花を扱うか考え、フローリストとしての自覚をもつ

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	フローリストの基礎知識。花の形状、水揚げ法、季節のお花を知る。資材、道具を知る。	筆記用具	
2	花束。スパイラルテクニック。用途に合わせたデザインとラッピング	筆記用具・ハサミセット	
3	ラウンドブーケとブートニア。ブーケの構造とワイヤリングについて	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ・ブーケスタンド	
4	小物制作。ケーキナイフ、マイク、シャンパングラスなど	筆記用具・ハサミセット・ワイヤー・フローラルテープ	
5	ホリゾンタルスタイル。テーブルに適したサイズのデザインについて。	筆記用具・ハサミセット・フラワーベース	
6	トライアングルデザイン・用途とデザインについて	筆記用具・ハサミセット・器	
7	パレレルスタイル。コンセプトに合わせたデザインの仕方について。	筆記用具・ハサミセット・フラワーベース	
8	リース制作。季節の装飾について	筆記用具・ハサミセット・グルーガン	
9	基礎デッサン	デッサン帖・2B以上の鉛筆・色鉛筆・イラストマーカーなど	
10	キャスケードブーケ・ブーケホルダーを使って	筆記用具・ハサミセット・ブーケホルダー・フローラルテープ	
11	フリースタイルアレンジ・花器と花のバランスを見てオリジナルアレンジメント	筆記用具・ハサミセット・オアシステープ	
12	ブライダルアイテムのイラスト	デッサン帖・2B以上の鉛筆・色鉛筆・イラストマーカーなど	
13	会場パース制作	デッサン帖・2B以上の鉛筆・色鉛筆・イラストマーカーなど	
14	制作したパースのプレゼン	筆記用具	
15	定期試験(実技)	ハサミセット・器・オアシステープ	

対象学年	1 学年	科目名	フォト&ムービー撮影Ⅱ	担当名	内垣 和
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ウェディングフォトおよびウェディングムービーを実践的に学ぶことにより、基本的な撮影・編集ができるようになる。
学習内容	フォトグラファー歴12年、前撮りを含め年間200組以上のブライダル撮影を行う講師が、カメラと写真の基礎知識、撮影技術はもとより、構図づくりや明るさ調整など写真・動画撮影の知識を講義する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具、一眼レフカメラ一式(バッテリー、メディア等)、MacBookを忘れずに持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・後期に向けて(学生)		
2	動画撮影実習		
3	動画撮影実習、動画編集実習		
4	動画編集実習		
5	人物撮影(ポートレート撮影)とスナップ撮影		
6	スナップ実習(場所未定)		
7	講評 集合写真撮影について		5・6回目分 編集作業
8	物撮りを学ぶ・撮る 講評		
9	光を知る・見る・選ぶ・コントロールする		
10	スタジオ撮影(型物・洋装)		
11	スタジオ撮影(型物・和装)		10回目分 編集作業
12	カメラの設定と操作 応用とより高度な設定		11回目分 編集作業
13	撮影実習・総合		
14	講評 復習(これまでの学習で理解が足りない部分を補う)		13回目分 編集作業
15	定期試験(写真)		

対象学年	1 学年	科目名	セルフビューティ B	担当名	笠原 麻衣
対象学期	後 期	講義	演習 実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。
学習内容	大手外資系化粧品ブランドの美容部員として約10年従事し、マネージャーとしてメイク・接客スキルの育成にも携わる。現在はメイク講師の傍ら、グランドニッコーホテル東京台場の美容サロンに所属し花嫁様のメイクを担当。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び生徒自身のメイク技術と美意識を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験と実技試験とする
履修に当たっての留意点	毎授業では自分の化粧道具を持参 持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備をお願いします。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講師自己紹介・生徒他己紹介・授業内容説明とアンケート		
2	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
3	印象別のアイブロウの描き方		
4	アイシャドウの塗り方、グラデーションの作り方		
5	ハイライト&シェーディングで立体メイク		
6	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
7	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
8	フルメイクのバランスの取り方		
9	印象別メイク①フェミニンメイク		
10	印象別メイク②クールメイク		
11	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
12	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
13	結婚式の参列メイク①		
14	結婚式の参列メイク②		
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	パーソナルカラー検定B	担当名	岡永 めぐみ
対象学期	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ファッション業界において、この分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込みず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P19
8	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
9	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
10	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P11
11	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P25
12	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P26
13	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P30、P31
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	

対象学年	1 学年	科目名	英会話演習B	担当名	Paul Searle
対象学期	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝える・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。				
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■コース紹介 ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel - 旅行について話すことができる ■Can discuss tours - ツアーについて議論することができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、自宅学習
2	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs - 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport - 空港チェックイン対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、自宅学習
3	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can understand directions at an airport - 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations - 入国審査の手続きについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、自宅学習
4	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can deal with lost items at an airport - 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accommodation - ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、自宅学習
5	■Can check guests in and out - お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food - ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、自宅学習
6	■Can explain sightseeing tours - 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping - お客様がお客様を購入する際にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、自宅学習
7	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs - 公共交通機関についてお客様のサポートができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、自宅学習
8	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues - トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、自宅学習
9	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain transport options to the airport - 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan - 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、自宅学習
10	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain Japanese meals at a Ryokan - 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs - 日本の土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、自宅学習
11	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can buy bullet train tickets - 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi - タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、自宅学習
12	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give advice on sightseeing - 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours - 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、自宅学習
13	■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit - 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、自宅学習
14	■Review of course materials—consolidation through role play - これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation - 試験勉強	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学年	1 学年	科目名	韓国文化演習B	担当名	1～4週目:竹澤 雅 5～7週目:近藤 仁
対象学期	後 期		講義 演習・実技・実習		2単位 30 時間

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	竹澤先生:韓国出身のネイティブ講師(現在は、日本国籍)が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する 近藤先生:ウェディングフォトのベテラン講師が、テーマに合わせたフォト演習を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業に入る準備を確立する 韓国の概要(文化・民族特性など)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国人気の理由について 考えをまとめる
	韓国のホテルについて(有名な観光地やホテルのおもてなしの方法)		
2	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で行ってみたい 観光地について調べる
	韓国ブライダルについて (韓国で今人気の結婚式について)		
3	韓国語(日常会話)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で推し活 応援うちわに書きたい 言葉を考える
	韓国語(接客用語)		
4	韓国の民族衣装やアイテムについて (チマチョゴリを着てみよう)	講師作成 プリントやPPT・映像など	チマチョゴリに似合う 髪型を考える
5	韓国風ウェディングフォトの準備① コンセプトシートの作成 (ウェディングフォトで着たいドレスを探す)		
	韓国風ウェディングフォトの準備② (韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて)		
6	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
7	韓国風ウェディングフォト撮影会		
8	定期試験	1～4回目の授業を中心とウェディングフォトの コンセプトシート提出、振り返りの内容	

対象学年	1 学年	科目名	マーケティングB	担当名	長谷川 円香
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	マーケティングの基本的な知識を理解し、商品やサービスが売れる仕組みを知る。自分の言葉や写真を使って表現出来るようになる。 SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社にて10年以上勤務後フリーランスウェディングプランナーとして独立。フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。 行政・企業のSNS運用・イベント集客などを手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について分かりやすい言葉で具体的に指導。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P / 4C】	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナとは？を知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	【グループワーク】発表 会場の魅力についてプレゼンテーション発表	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ なぜ、マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成① マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成② マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	ブライダルジュエリーB	担当名	北沢 聡子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらうような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	宝石の特徴と主な種類、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサルク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ドレスとブライダルジュエリーのバランス	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	王族・貴族のブライダルジュエリー	講師資料	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座B 講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	担当名	田中 絵巳	
対象学期	後 期			単位/時間数	2単位	30 時間

到達目標	「ブライダル業界の社会人1年目に必要となる、業界基礎知識（流れ・マナー）を学び、その項目に対し相談に乗れるようになること」 ①認知：列席側・新郎新婦側の基本的知識（流れ・マナー）の理解し、説明できる ②感情：「基本的知識を手に入れ、業界に入るベースが作れた」と思える自己効力感がある ③行動：列席・新郎新婦側のケーススタディを個人ワーク・グループワークを通じて考え・話し合う ④対人関係：ブライダルを専門的に学んだ者として、列席・新郎新婦の基本的な流れ・マナーの相談に乗れる人材になる																					
学習内容	ウエディング企業にて約7年勤務のち、ウエディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員が実際に現場で必要と感じた業界基礎知識を【知識解説→ケーススタディ→ワーク→解説】の順で教える。 ①自分が列席する際のマナー（招待状、服装、祝儀、当日） ②新郎新婦の準備の流れ・マナー（段取り、日取り、結婚式スタイル、ペーパーアイテム、引出物、プログラム、結婚後）																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	服装：私服 持ち物：コマによって筆記用具を持参(前週に案内)																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション:業界の今	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
2	【列席者】招待状(返信ハガキ(欠席・出席)、ゲストカード)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
3	【列席者】服装(親、兄弟姉妹、親族、友人)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
4	【列席者】ご祝儀(金額、袋、ふくさ)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
5	【列席者】列席当日(受付、電報、スピーチ)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
6	【新郎新婦】結婚段取り・費用(婚約～婚礼～新婚旅行、新生活)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
7	【新郎新婦】式場決定前(プロポーズ、挨拶、結納、日取り(六輝))	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
8	【新郎新婦】スタイル決め(挙式スタイル、披露宴スタイル)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
9	【新郎新婦】会場決め(式場スタイル、ウエディングフェア)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
10	【新郎新婦】ペーパーアイテム(招待状、席次表作成マナー)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
11	【新郎新婦】ギフト(引出物、プチギフト)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
12	【新郎新婦】プログラム(進行、手紙、謝辞)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
13	【新郎新婦】ゲスト演出(スピーチ、乾杯、余興、カメラ)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
14	【新郎新婦】式後(婚姻届、ハネムーン、内祝い、結婚通知状)	スライド	授業内容に応じて、自宅学習
15	総復習 振り返り テスト 60点分 定期試験	スライド	授業内容に応じて、自宅学習

対象学年	1 学年	科目名	ブライダルブーケ B	担当名	松浦 麻子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 (実技) ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間
到達目標	ブーケ、ヘア装飾の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。				
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/毎回の授業に振り返り有/生花を使う場合は水揚げ作業もします				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【ドライフラワーのクラッチブーケ】 取扱いと作り方説明 ブーケ・ブートニア・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
2	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3	【アーティフィシャルフラワーのクラッチブーケ】 注意点説明 ブーケ・花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
4	【生花のラウンドブーケ:ブーケホルダー使用】 ブーケホルダーの説明 水揚げ・ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
6	【生花のティアドロップブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
8	【生花のキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9	【ドライフラワーのボールブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
10	【生花のボールブーケ】 水揚げ・ブーケデザイン・制作・前回との比較	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11	【ドライフラワーのバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケデザイン・制作	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
12	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13	展示会用ドレス選択 ブーケデザイン	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
14	展示作品制作 展示 感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15	定期試験	筆記用具	なし